



はぎわら 穂原 政夫 議員
(令和みらい)



こどもまんなか社会実現に向けての市の取組について

Q 義務教育9年間を見通したキャリア教育の推進について伺いたい。

A 教育長

児童生徒が広い視野から社会や職業を捉える力を培うためには、義務教育9年間を見通した体系的、系統的なキャリア教育を計画的に進めていく必要があると考えています。そこで本市教育委員会では、本年度学習の系統性を小中義務教育学校の教員が検討し、キャリア教育の計画として位置づけられるようなシートを作成しました。小中一貫教育の推進ブロックごとに、このシートを活用して自校化を図る予定です。こうした教育を行うことで、児童生徒は自分の可能性を広げ、社会に貢献できる人材として成長していくことが期待されます。

市教育委員会としては、引き続き地域の事業所等と連携を図りながら、9年間を見据えたキャリア教育の推進に努めていきます。



はやかわ 早川 貴光 議員
(未来の佐野を明るくする会)



デジタル地域通貨「のまるペイ」について

Q 物価高騰対策のさのまるペイポイントの給付事業は、市民を対象に一人当たり8千円分のポイントを使い切りカードで給付し、食料品のみならず生活必需品等にも幅広く利用できるが、現状ではカードが利用できる店舗は限定されるという課題があり、アプリ利用への転換を促す取り組みをすることだが、その内容を伺いたい。

A 総合政策部長

カードからアプリへ利用形態を変えていただく、より利便性の高いさのまるペイが利用できるため、カードを配送する際に、分かりやすいアプリの登録の仕方や、カードからアプリへの移行の仕方の通知を入れつつ、その通知だけでは分かりづらいところもあるため、丁寧に説明をしながら進めていきます。

その他の質問

☆佐野市公共施設案内・予約システムについて



たきた ようこ 滝田 洋子 議員
(日本共産党議員団)



学校給食について

Q みんなのまなびばアクティヴ・マイルームに通室している児童生徒への食事提供について、給食の配食を含め、家庭負担の軽減と子供の権利保障の観点からどのように検討しているのか、現状の課題認識と今後の方針について伺いたい。

A 教育部長

みんなのまなびばアクティヴ・マイルームへの配食を行うに当たり、牛乳用保冷庫の設置など配食された給食を安全に保管するための設備の整備が必要となります。また、児童生徒の登校先が日によって異なるため、配食先や配食数の把握、食物アレルギーを持つ児童生徒への対応及び配食先の追加に伴う配送ルートの変更など様々な問題を解決、解消する必要があります。両学び場への配食については、引き続き研究していきたいと考えています。

その他の質問

☆多様な居場所について

